

教育目標

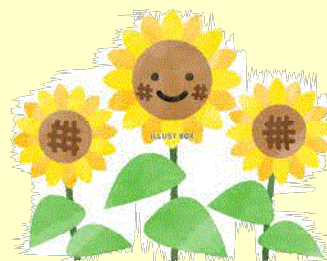
夢を一緒にかなえよう

～気付き・考え・高め合う～

ひまわり

住所：〒893-0057 鹿児島県鹿屋市今坂町12560-2

電話：0994-44-8725 FAX:0994-40-1220

HP：[//www.edu-kanoya.net/edu/nishiharadai/es/index.html](http://www.edu-kanoya.net/edu/nishiharadai/es/index.html)

～冬休みは様々な本物の体験を～

校長 西 康人

早いもので、今年も残すところあとわずかとなりました。明日から子どもたちが待ちに待った冬休みです。2週間余りの長期休業となりますが、私自身、小さな頃から今でも、年末年始は気持ちがわくわくしたり、ドキドキと高揚したりする特別な思いを感じています。その理由は、1年の中でも特別な行事がいくつもあるからかもしれません。

冬休みは、1年の締めくくりである大晦日と、新たな1年の始まりである元日が背中合わせになった、1年の中で最も重要な節目を中心に、古くから伝わる様々な年中行事が繰り広げられます。

様々な行事が、次々と訪れる冬休みですが、その行事の意味や由来を知って過ごすことで、昔の日本人の考えや知恵を学ぶことができます。ちなみに、1年の最後の日を大晦日（おおみそか）というのはなぜでしょうか？

大晦日の「みそか」は本来「三十日」と書き、月の30番目の日ということでしたが、それが転じて月の最終日を指すことになったようです。「晦」は月が隠れるという意味があります。旧暦（太陰暦）では、月末になると月が見えなくなってしまうため、月の最後の日、つまり月末のことを「晦日」と呼ぶようになったそうです。そして12月31日は1年の終わりの日ということから、「晦日」に「大」をつけて「大晦日」と呼ぶようになったと伝えられています。

その他にも、大掃除や、鏡餅、門松飾り、しめ縄、年越しそば、初日の出、おせち、お雑煮、お年玉、初詣、書き初め、初夢、七草、等どんな意味があるのか、なぜ行われているのか、一つ一つの行事の意味や由来を子どもたちと一緒に調べてみるのも、冬休みを有意義に楽しむことにつながると思います。

さて、本校では12月11日に芸術鑑賞会が行われました。文化庁の学校巡回公演事業の一環で、能楽の公演を鑑賞する機会に恵まれました。内容は「能」と「狂言」でした。能や狂言も古くから日本に伝わる伝統芸能の一つです。私自身初めて生の舞台を鑑賞しましたが、声の出し方や息づかい、独特の姿勢、動きはテレビ等で見るものとは比べものにならないほどの迫力がありました。一見難しそうな内容でも、演技を食い入るように見つめる子どもたちの姿に、本物に触れる体験活動の大切さに改めて気付かされました。

体験活動は、子どもたちの自己肯定感を高め、自分らしく活躍でき、社会を生き抜く力が育むことにつながっています。ただ、何も旅行やテーマパークに行くといった特別な体験でなくとも、この冬休みにある一つ一つの行事を家族や親戚、いつも一緒に過ごす人と共に共有することが、愛情を確かめ、絆を深めることにつながるのです。本物の体験活動は、御家庭の身近なところにあります。特にお正月を中心とした冬休みは、絶好のチャンスではないでしょうか。ぜひ、この冬休みを子どもと一緒に様々な体験を楽しんでみませんか。

先週、朝の登校を見守っているときに、心配そうに私に話しかけてくる子がいました。「サンタさんに手紙を書いたんだけど、クリスマスまでに届くかなあ。」私が「大丈夫、きっと届きますよ。」と話すと、その子は笑顔で教室に駆けていきました。

明日から冬休み、どの子にとっても素敵な冬休みになることを願っています。

力いっぱい走ったよ！ 持久走記録会！！



12月3日(火)に1・3・5年が、12月5日(木)に2・4・6年生が持久走記録会を実施しました。これまで朝の時間や体育科の学習の中で持久走の練習を行ってきました。子どもたちにとって長い距離を走り通すことは苦手なところもありましたが、自分の目標記録への挑戦で全員完走することができました。この持久走大会では、走り抜くことも大切ですが、きついことや苦しいことから逃げずにやり通す強い心を育てることも願っています。その点からも、全員が頑張った大会でした。多くの保護者の皆様、そして祖父母の皆様の応援も子どもたちにとって、元気が出ました。ご多忙の中に、ご声援いただきありがとうございました。



伝統芸能に触れた！ 芸術鑑賞会

12月11日(火)に全校児童が能と狂言を鑑賞しました。世界無形文化遺産の能楽は普段なかなか触れることが少ないです。狂言・能の上演を見るだけでなく、狂言独特の発声体験や狂言の構え(姿勢)と運び(摺り足)の動作体験をしました。650年続いている日本の宝を経験するよい機会になりました。

大いに盛り上がった「ちちん☆ブイ」の読み聞かせ！！

12月は、読み聞かせボランティアグループ「ちちん☆ブイ」の皆さんによる読み聞かせのイベントがありました。全学年、クリスマスやお正月に関する読み聞かせに関する読み聞かせで、子どもたちを大いに楽しませてくださいました。バラエティーに富んだ内容でおもしろかったです。「ちちん☆ブイ」の皆さん、楽しい読み聞かせをありがとうございました。



1月の行事予定 ※ 変更の可能性あります。

日	曜	主 な 行 事
1	水	元日 
6	月	仕事始め 
8	水	3学期始業式・大掃除 いじめを考える週間(～17日)
9	木	委員会活動・児童代表委員会
10	金	避難訓練(地震・火災想定) 
11	土	土曜授業
13	月	成人の日
15	水	PTA運営委員会
16	木	クラブ活動(3年見学①) 
20	月	お茶とのふれあい事業(5年)
21	火	鹿児島学力・学習状況調査(5年)
22	水	鹿児島学力・学習状況調査(5年) 消費生活講座(5校時 5年)
23	木	地区フレッシュ研修(本校)
24	金	全国学校給食週間(～30日)
29	水	クラブ活動(3年見学②) 
30	木	委員会活動
31	金	中学校入学説明会(6年生と保護者)

二段門松で 迎春！！

12月21日(土)9:30から、おやじの会の皆様のご協力のもと、恒例の門松作りを行いました。西原台小の子どもたちが元気で仲よく新しい年を過ごすことができるようにと、二段飾りの立派な門松ができました。

松は、生命力、不老長寿、繁栄の象徴とされてきたことは昨年書きました。では、竹と梅はなぜ使われるのでしょうか。竹は、生命力が強く、早くまっすぐに伸びます。このことから、生きる力や繁栄するという意味があるそうです。梅は、年が明けて、一番先に咲く花です。また、紅白の色があることから、縁起が良いとされているそうです。この他、今年は南天(ナンテン)の木が植えられています。これはどんな意味があるのでしょうか。ぜひ、調べてみてくださいね。



体調に気を付けて！楽しい冬休みを

年末年始、楽しい行事がいろいろあり、子どもたちもわくわくしていることでしょう。正月行事には、豊稔を祈ったり、家族の健康を祈ったり、みんなの幸せを願ったりした行事や風習がたくさんあります。少しでも、伝統的な行事や地域行事にふれ合い、日本の伝統的な文化のよさを知る冬休みになってほしいと思います。体調管理に気を付けて充実した冬休みにしてほしいです。